

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部



令和六年一月度 入賞句一覧

投句数 七百八十六句

特選

遠藤 幹郎 選

寄せ鍋を家族で囲む晩ごはん

大垣市

野口 眺幹（小六）

寄せ鍋は、寒い夜には部屋も体も芯から温まる、日本の代表的な家庭料理です。特に「家族で囲む晩ごはん」がいいですね。一日の疲れをいやす家族だんらの夕食。家具材の煮え立つ音と家族の語りなどで、寒さを忘れさせてくれる、暖かで賑やかな一家の雰囲気伝わってくるすてきな一句ができました。

寒い夜猫にひつつき暖をとる

大垣市

松本 ちかげ（小六）

「猫にひつつき暖をとる」がいいですね。猫の大好きな作者。いちだんと寒い今夜、作者は猫を抱き寄せわが身を委ねて温まったという、ほほえましく味わいのある一句です。普通はストーブやこたつで暖をとり、寒さをしのぐところを、猫に身を寄せ暖をとったというところに、作者らしさがよく出ています。

ふゆざくらもやいぶねとで川うつる

大垣市

内田 日奈子（小六）

船町湊の水門川べりの冬桜ともやい舟を見ての一句です。冬空の下で小ぶりの花を開いた冬桜と、船町灯台の下にながれいている黒色のもやい舟とが、水門川の水面に映っているのを、じつと眺めている作者。春に咲くあの桜の花とは対照的に、冬の静かさと物寂しい情景が想像される一句です。

秀逸

ばしよう像冬の風にも動じない

大垣市

二宮 乾太（小六）

ゆるやかに落ち葉流れる水門川

大垣市

小川 颯矢（小六）

かれすすき風にふかれておどってる

大垣市

橋本 果歩（小六）

かれは道共に踏みしめ歩いてく

大垣市

高橋 幸助（小六）

大そうじここにあったかたからもの

大垣市

早野 結菜（小四）

おどろいたもうまつくらに日短し

大垣市

清水 陽葵（小六）

布団から出るのをこぼむ冬の朝

大垣市

深尾 侑生（小六）

たきびたきまわりの雪がとけていく

大垣市

藤野 泰生（小五）

さむいひびこたつにもぐりかたつむり

大垣市

廣瀬 瑛怜奈（小五）

食べたいなおもち十個お正月

大垣市

藤田 彩花（小五）

入選

小中学生の部

じよやのかねぼくの一発なりひびけ

大垣市

安藤 健人(小六)

空みあげだんごかたてに月見する

大垣市

杉山 美音(小六)

一年がもうすぐ終わる大晦日

大垣市

加藤 颯真(小六)

豊作だたくさんとれた新米が

大垣市

高橋 明莉(小六)

りんご狩りたくさんあるよ迷うよね

大垣市

河合 勇嬉(小六)

ゆきだるまおうちのまえでもんがまえ

大垣市

矢嶋 愛華(小六)

おでんがねほかほかしててたべたいな

大垣市

はやし だいち(小二)

のびをしてカーテンあけるふゆのあさ

大垣市

平尾 心結(小六)

ゆきだるま大きすぎてねまだとけない

大垣市

杉野 りょう大(小四)

つきすすめさむさの中を登校だ

大垣市

米山 葵(小四)

外寒くとびらを閉めても隙間風

大垣市

北村 樹(小六)

赤々と冷たい手指を手袋で

大垣市

宮崎 碧海(小六)

お正月早く食べたいおぞうにを

大垣市

田なべ げんどう(小六)

帰り道試合がえりに冬の虹

大垣市

山田 美来(小六)

初詣冷える手合わせ祈る夢

大垣市

伊藤 陽咲(小六)

風花が風に乗って飛んでゆく

大垣市

花岡 陽月(小五)

からつ風いぶきおろしがふいてるな

大垣市

小林 英豊(小五)

年賀状ほぼほ全部親あてだ

大垣市

栗川 颯太(小六)

冬の夜家族と食べるなべ料理

大垣市

上野 竜馬(小六)

しも焼で手と手をこすりあたためる

大垣市

代 靖睿(小六)

選者吟

枝々の雪ちぎれては落ちにけり

幹 郎

